

ビルディングオートメーションシステム

savic-net™ G5

入退室管理機能

■ 概要

savic-net G5は、弊社最新*のシステムです。

- スーパーバイザリデバイス
システム全体を統合的に監視・制御するためのデバイスです。
統合コントローラやネットワークアタッチトストレージなどが含まれます。統合コントローラは、プライマリデバイスの情報を集約し、システム全体を統合的に監視・制御するための情報を監視用PCに提供します。
- プライマリデバイス
統合コントローラと直接通信し、建物の入退室管理設備・防犯設備を制御するデバイスです。
アクセス・コア・コントローラインタフェース（以降：ACCインタフェース）などが含まれます。
- セカンダリデバイス
プライマリデバイスと通信し、カードリーダー・電気錠・防犯センサなどの設備機器を制御するデバイスです。
アクセス・コア・コントローラ（以降：ACC）などが含まれます。

どちらの製品も先進の機能であることはもちろん、確かな「品質」で長期にわたり、安定したシステム環境を構築します。

システムの追加・変更、保守・故障時にもシステム全体に影響のない、拡張性と安全性の高い分散システム構成です。

入退室管理設備・防犯設備の業務を確実にサポートするため、システムを有効かつ効率的に活用できるさまざまな機能を付加しました。これにより、従来よりも適切かつ有益な監視・管理・制御のオペレーション環境を実現します。

* 2024年3月現在

使用上の制限、お願い

本製品は、建物や部屋の出入管理での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。放射線管理区域で本製品を使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

盗難や不法侵入などの犯罪を防止する装置ではありません。フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 特 長

- 優れたユーザエクスペリエンス（User Experience：UX）を提供するユーザインタフェース
ユーザインタフェースには、システムの有効活用を支援する機能があります。
優れたユーザエクスペリエンスを通じて、適切で有益な設備の監視・管理・制御を実現します。
操作に不慣れな一般管理者でも、次に見るべき画面や情報が直感的にわかります。一方、システム管理者に対しては、複雑な業務を効率化するためのオペレーション環境を提供します。
- 徹底した分散モジュール化で、信頼性とメンテナンス性を向上し、大規模システムに対応できます。
- オープン通信プロトコルによる進化したシステム統合管理システムの通信プラットフォームはBACnetを採用しています。また、ACCはWiegandに対応しており、さまざまなメーカーのカードリーダーや顔認証装置、指静脈認証端末を接続し、管理できます。
- 信頼の品質
弊社は、50年以上にわたり日本のビルディングオートメーションシステムをリードしてきました。
自社で設計・開発された高品質の製品は、長期的な安定稼働と長期間の保守対応により、お客さまより厚い信頼を得ています。

■ システム構成

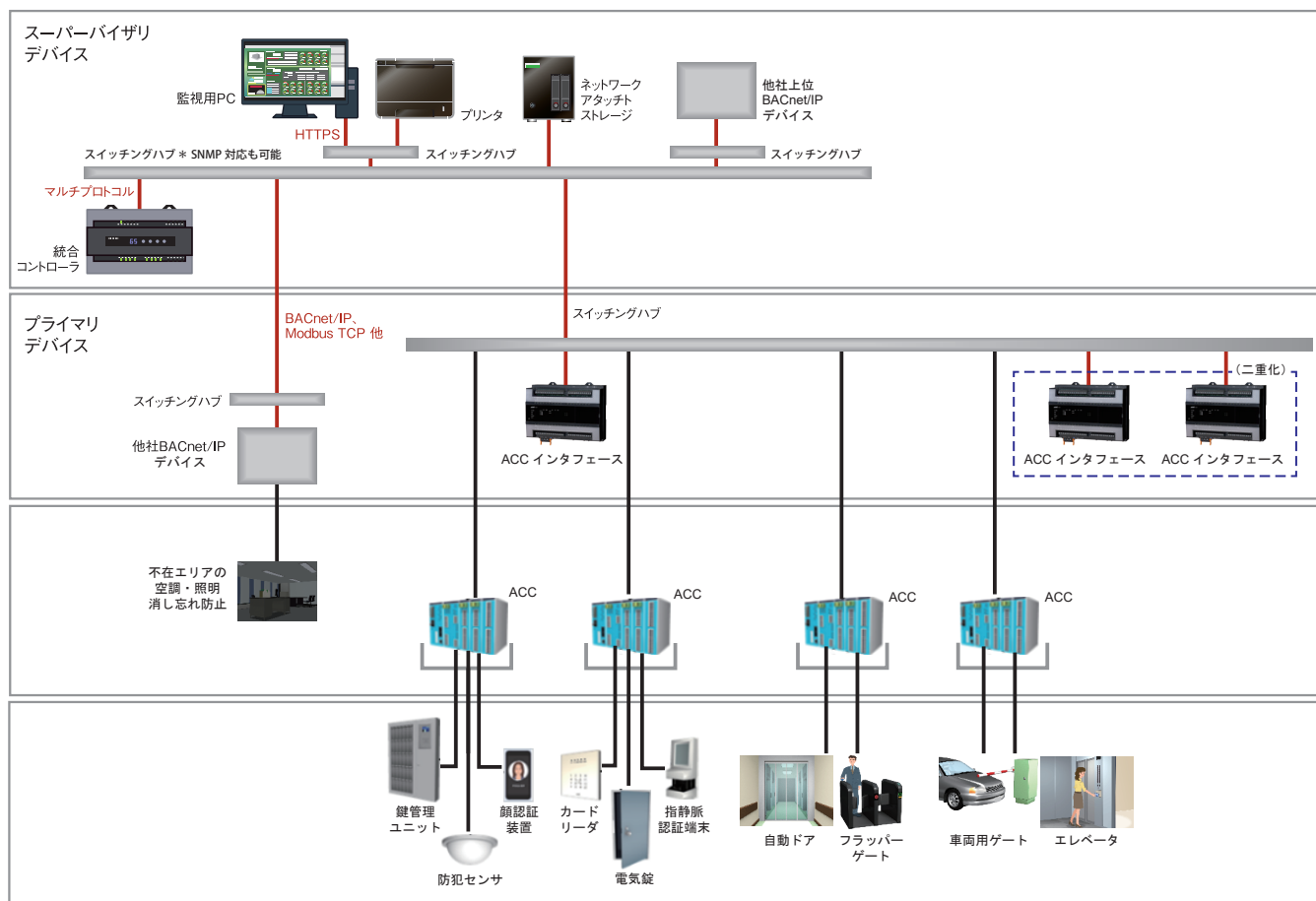


図1 システム構成例

デバイス	説明
統合コントローラ	savic-net G5システム全体を取りまとめるデバイスです。 プライマリデバイスが持つポイント情報を受信し、設備機器を統合的に監視・制御します。 統合コントローラは、受信したデータを蓄積し、管理すると同時に、監視用PCに情報を提供します。
ネットワークアタッチトストレージ	統合コントローラが管理するデータ件数を拡張し、savic-net G5システムにおいて長期間のデータを蓄積するために、スーパーバイザリデバイスネットワークに接続されるストレージドライブです。
監視用PC	各種設備の状態・警報・計測値などの情報を統合コントローラより受信し、監視や操作に必要な情報を表示するデバイスです。 監視用PCを使って各種データをファイルに出力し、データの解析ができます。
ACCインタフェース (AIF)	建物の入退室管理・防犯設備などを制御するためのコントローラです。
アクセス・コア・コントローラ (ACC)	電気錠や自動扉／フラッパーゲートの制御と、防犯センサからの検知信号の監視を担当するコントローラです。 制御動作は自律的に動作するので、システムのほかの部分が停止していても正常に動作を継続します。 監視用PCと統合コントローラを介して通信し、監視用PCから設定値などの変更を受け付け、制御結果などのデータを返送します。 また、入退室ユーザの認証データを内部のメモリ上に保持し、カードリーダーなどの認証端末から送られてくるカードのIDコードなどと照合し、結果を判定（入退室許可／不許可）します。
カードリーダー (非接触ICカードリーダー)	ユーザが入退室のときにかざすカードの内容を読み取って、その内容をACCへ送ります。

■ 主要デバイスのH/W仕様

● 監視用PC



項目	推奨仕様	
		監視点数30,000ポイント以下かつ定常的な現在値変化1,200変化/秒以下
CPU	Intel® Core™ i3-5157U 以上の性能	Intel® Core™ i7-8700 以上の性能
GPU	Intel® HD 5500以上の性能	Intel® UHD Graphics 630以上の性能
主記憶容量 (メモリ)	8 GB以上	16 GB以上
ストレージ	70 GB以上の空き容量	120 GB以上の空き容量
ディスプレイ	FHD (1,920×1,080ドット) を推奨。 1,366×768 (FWXGA) ~3,840×2,160 (4K) まで対応できます。 (注記) 文字サイズなどの描画ピクセルサイズが変わらず、画面内に描画しきれない場合は、スクロールバーを表示します。	
OS	Windows 11・Windows 10 Pro 64bit (日本語・英語) (注記) 32 bitは、使用できません。	
追加ソフトウェア	Microsoft Excel 2021・2019・2016 (注記) 帳票類の出力に使用します。	

● 統合コントローラ



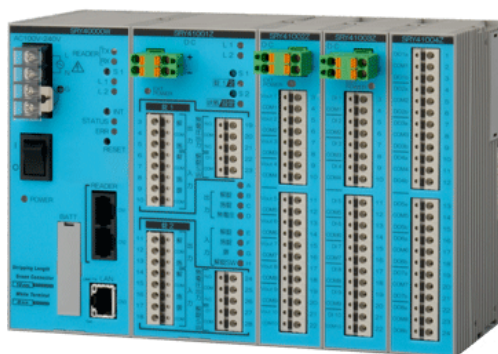
基本仕様	
管理点数	150,000ポイント以下/システム 5,000ポイント以下/統合コントローラ
電源	定格電圧 : AC100 V~240 V、50 Hz/60 Hz 消費電力 : 60 VA
CPU	64 bit
主記憶容量	SDRAM 8 GB
補助記憶装置	SATA SSD 64 GB
通信	BACnet/IP、Modbus/TCPなど
通信速度	100 Mbps/1000 Mbps
外形寸法	230 mm (W) × 140 mm (H) × 80 mm (D)
質量	1.4 kg

● ACCインタフェース



基本仕様	
電源	定格電圧：AC100～240 V、50 Hz/60 Hz
	消費電力：30 VA以下
CPU	32 bit
記憶容量	256 MB SDRAM、32 MB Flash ROM、2 MB SRAM
通信	BACnet/IP 通信速度：100 Mbps/1000 Mbps
	専用プロトコル (Ethernet) 通信速度：100 Mbps
外形寸法	190 mm (W) × 140 mm (H) × 80 mm (D)
質量	1.1 kg

● ACC (BASICモジュール・JYOモジュール・TBモジュール・DIモジュール・DOCモジュール・Wiegandモジュール・KBXモジュール)



《ACC (BASICモジュール)》

基本仕様	
電源	定格電圧：AC100 V～240 V、50 Hz/60 Hz
	消費電力：40 VA (モジュール最大構成時)
通信	専用プロトコル (Ethernet) 通信速度：100 Mbps
リーダ通信	RS-485、19.2 kbps、16台、900 m
電源端子	端子台 (M3ねじ)
I/O モジュール用 外部電源 コネクタ	ワンタッチねじレス2ピースコネクタ (渡り 配線可) 最大負荷電流 ($\phi=2.5 \text{ mm}^2$) 12 A * ただし、渡り配線分も含む
入出力端子	スプリング端子台
外形寸法	60 mm (W) × 140 mm (H) × 90 mm (D)
質量	0.41 kg

《ACC (JYOモジュール・TBモジュール・DIモジュール・DOCモジュール・Wiegandモジュール・KBXモジュール)》

基本仕様		
入出力点数	(参照) 『■形番』	
外形寸法、 質量	JYO モジュール	60 mm (W) × 140 mm (H) × 90 mm (D) 0.3 kg
	TB モジュール	30 mm (W) × 140 mm (H) × 90 mm (D) 0.16 kg
	DI モジュール	30 mm (W) × 140 mm (H) × 90 mm (D) 0.16 kg
	DOC モジュール	30 mm (W) × 140 mm (H) × 90 mm (D) 0.19 kg
	Wiegand モジュール	60 mm (W) × 140 mm (H) × 90 mm (D) 0.29 kg
	KBX モジュール	30 mm (W) × 140 mm (H) × 90 mm (D) 0.15 kg

● 非接触ICカードリーダー（スリム-IIタイプ）



基本仕様	
対応I/C カード	FeliCa・FeliCa Lite・FeliCa Lite-S MIFARE・eLWISSE
電源	定格電圧：DC24 V
	消費電力：150 mA
取付	壁内埋込（専用埋込ボックス）／露出（専用露出ボックス）
LED表示	OK・NG・解錠・警戒・回線
操作キー	テンキー・セットキー・音量調節キー・F1 キー・F2キー
外形寸法	116 mm (W) × 120 mm (H) × 53 mm (D) 壁からの突出部は12 mm
質量	0.3 kg

● 非接触ICカードリーダー（高機能タイプ）



基本仕様	
対応I/C カード	FeliCa・FeliCa Lite・FeliCa Lite-S MIFARE・eLWISSE・交通系ICカード
電源	定格電圧：DC24 V
	消費電力：150 mA
取付	壁内埋込（専用埋込ボックス）／露出（専用露出ボックス）
LED表示	OK・NG・解錠・警戒・回線
LCD表示	3.5型TFT液晶、タッチパネル、バックライト
操作キー	LCD+タッチパネル方式
外形寸法	140 mm (W) × 250 mm (H) × 58.5 mm (D) 壁からの突出部は10 mm
質量	0.53 kg

● 交通系ICカード対応 非接触ICカードリーダー（テンキー有タイプ）



基本仕様	
対応I/C カード	交通系ICカード・FeliCa
電源	定格電圧：DC24 V
	消費電力：150 mA
取付	壁内埋込（専用埋込ボックス）／露出（専用露出ボックス）
LED表示	OK・NG・解錠・警戒・回線
操作キー	テンキー・セットキー
外形寸法	160 mm (W) × 120 mm (H) × 60.5 mm (D) 壁からの突出部は16 mm
質量	0.7 kg

● 鍵管理ユニット - II (KBX-II)



基本仕様		
取付	壁内埋込（専用埋込ボックス）／露出（架台あり）	
鍵ボックス数	10・20・30・50ボックス	
LED表示	リーダ部 OK・NG・運転中・全警戒・全回線 ボックス部 施錠・解錠・貸出・保管・警戒・回線	
操作キー	テンキー・*・#（液晶タッチパネル）	
対応ICカード	FeliCa・MIFARE・eLWISSE	
電源	AC100V	
外形寸法、質量	10ボックス	390 mm (W) × 850 mm (H) × 130 mm (D) 約31 kg
	20ボックス	490 mm (W) × 850 mm (H) × 130 mm (D) 約38 kg
	30ボックス	580 mm (W) × 850 mm (H) × 130 mm (D) 約46 kg
	50ボックス	760 mm (W) × 850 mm (H) × 130 mm (D) 約60 kg
表面仕上げ	本体・扉 ステンレスNo4クリアコート仕上げ	

■ savic-net G5ユーザ操作画面概要

savic-net G5に触れる頻度が少ない警報監視が主の一般管理者と、設定/評価/分析作業を主とするシステム管理者双方の日常業務をサポートするため、次の観点から両者にとって使いやすい画面を実現しました。

一般管理者 : 基本的な操作をガイドし、業務の質を底上げする。

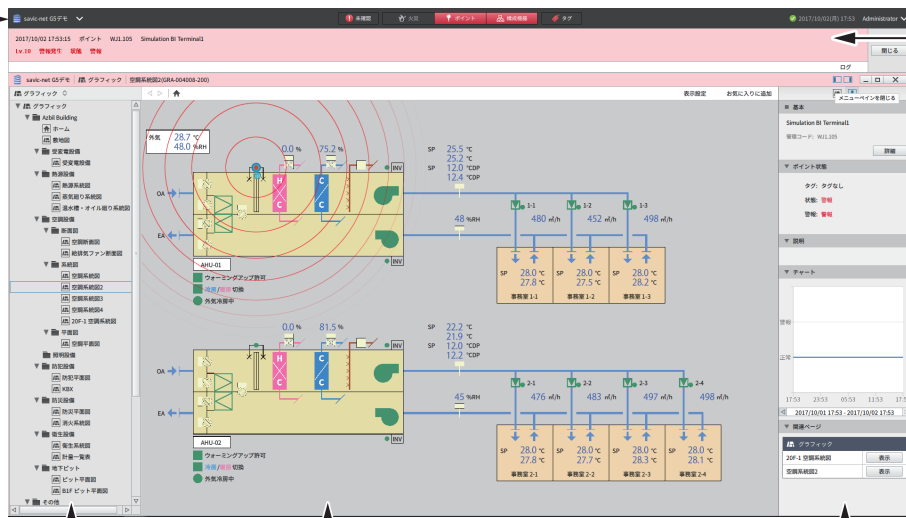
システム管理者 : 高度な操作をサポートし、複雑な業務を効率化する。

システムステータスウィンドウ

システム状態（警報インジケータ・システム時刻・ログイン情報など）を常時表示します。
インジケータ部の操作によって警報中一覧や未確認警報一覧を直接呼び出す、またはあらかじめ登録したホーム画面を呼び出せます。

警報通知ウィンドウ

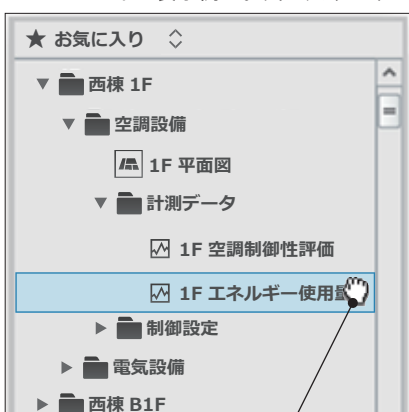
警報発生時に自動的に表示し、警報文字の情報と同時に警報音を鳴動します。
警報音停止操作も警報通知ウィンドウから行います。
警報通知ウィンドウから警報履歴を確認する画面を呼び出せます。



メニューペイン

機能ごとに分類された画面のリストやユーザが独自に整理したリストをツリー表示します。このリストを選択することにより、該当する機能画面をコンテンツペインに表示します。

メニューペイン表示例：お気に入りツリー



ドラッグ&ドロップによる表示位置の変更もできます。

コンテンツペイン

グラフィックやチャートなどの内容を表示します。

ユーティリティペイン

コンテンツペインで選択されたポイントやデバイスの操作や情報表示を行います。

ユーティリティペイン表示例：ポイント選択時



機器名称などの基本情報と、さらに詳細な情報を得るための「ポイント詳細」画面への移行ボタン。

現在の機器状態の確認と、出力点の場合は操作・設定変更。

機器警報が発生したときに、処理方法、連絡先、IPカメラのリンクなどを表示し、ユーザが速やかに状況の確認と適切な処置を取れるように支援します。

この機器に関する説明を表示。
(設置日や次回保守予定、定格能力など)

直近 24 時間分の変化履歴。
さらに過去の情報に移動できます。
クリック操作で、その時間の値を表示できます。

この機器が登録されているプログラムをアプリケーションごとに表示し、「表示」ボタンをクリックし該当プログラム画面を呼び出せます。

■ 機能概要

● 監視

(1/3)

機 能	説 明
グラフィック (オプション)	<p>システムが管理対象にする各設備の状態を平面図・断面図・系統図などのグラフィック形式でコンテンツペインに表示します。</p> <p>表示された設備の情報を状態変化の度に更新します。</p> <p>コンテンツペイン上のポイントを選択すると、ユーティリティペインに選択したポイントの情報が表示されます。発停操作／設定値の変更操作や直近のトレンドや関連プログラムを確認できます。複数のポイントを選択し、一括発停や設定値変更もできます。また、グラフィック上に表示しているシンボルの一覧をコンテンツペイン上で表示でき、一覧からの一括発停・設定値変更ができます。</p> <p>グラフィックサイズは、自動的に拡大／縮小し、画面に合わせて表示されます。動的シンボルの色変化や計測値／積算値の数値表示などで、設備やフロアの背景のうえにポイントの値や状態、ポイントプロパティの情報を表示します。</p> <p>グラフィック上に、画面移行用のシンボルを割り付けておくと、シンボルの選択により、別のグラフィック、または任意の機能画面へ移行できます。</p> <p><動的シンボル種別></p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル文字 デジタル形状切替 デジタル色変化 デジタル画像切替 アニメーション アニメーションGIF アナログ文字 アナログ形状切替 アナログ色変化 アナログ画像切替 グラデーション アナログバー アナログメータ 画面移行 日付時刻 円グラフ 折れ線グラフ 棒グラフ サムネイル画面移行 デジタル色変化_ポイントプロパティ デジタル形状切替_ポイントプロパティ アナログ文字_ポイントプロパティ アナログバー_ポイントプロパティ アナログメータ_ポイントプロパティ ポイントアラーム アプリケーション呼出
グラフィック編集 (オプション)	<p>ユーザによるグラフィックの作成・編集ができます。</p> <p>建物の用途変更（間仕切り／部屋名称など）が発生したときに、画面の編集が任意に行えます。</p>

機 能	説 明
ポイント一覧	<p>ポイントの情報（名称・状態・警報・タグ・タイプ・管理コード・コマンド・プライオリティ・警報レベル・活性経過時間監視活性経過時間・活性経過時間監視上限値・状態変化回数監視状態変化回数・状態変化回数監視上限値・状態継続時間監視状態継続時間・状態継続時間監視上限値・時間帯別稼働実績監視・時間帯別稼働実績監視時間帯指定スケジュール）をリスト形式／ツリー形式（管理コードが階層化されている場合）で表示します。</p> <p>名称や現在状態などの表示される項目ごとにフィルタリングした一覧も表示できます。</p> <p>また、任意のポイントをグループ化してリスト形式／ツリー形式（管理コードが階層化されている場合）で表示できます。</p> <p>表示しているポイントの情報をCSVファイル・XLSXファイル・PDFファイルに出力し、監視用PCの任意のフォルダに保存できます。</p> <p>複数のポイントを選択して発停や設定値を一括で変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 上下限値の変更 • 積算増分（指定期間）監視の有効／無効設定 • サービス外タグの設定／解除設定 • アナログ上下限の有効／無効設定
ポイント詳細	<p>各ポイントの基本的な状態表示・操作と同時に、ポイント名称・説明・警報レベルなどのポイント属性の変更・閲覧・サービス外登録といった特殊な操作をします。</p> <p>重要設備の機器を起動・停止するポイントに操作確認メッセージを登録し、操作時のアクションを「操作→メッセージ確認→実行」の3アクションにでき、誤操作を防止します。</p> <p>また、ポイント詳細画面での設定により、運用区分に関係なくユーザによる画面からの手動操作を一時的に禁止できます。</p>
デバイス一覧	<p>システムで管理される統合コントローラやプライマリデバイスの情報（デバイス名称・警報状態・管理コード・IPアドレス）をリスト形式で表示します。</p> <p>初期設定では、表示できるデバイスのすべてを表示することや警報状態にあるデバイスのみを表示できます。</p>
デバイス詳細	<p>システムで管理される統合コントローラやプライマリデバイスの詳細な情報をデバイスごとに表示します。また、対象デバイスの各種設定・蓄積データを手動でバックアップできます。</p> <p>「基本」「ネットワーク」「出荷情報」「バージョン」「時刻管理」「不正プログラム監視」のタブ別に表示します。</p> <p>* 「不正プログラム監視」タブはSVC不正プログラム監視機能（オプション）使用時に表示します。</p>
自動バックアップ （オプション）	<p>統合コントローラの各種設定・蓄積データを毎日、または指定の曜日に監視用端末に自動的にバックアップします。</p>
警報処理	<p>システムが警報を検知すると、次の方法で自動的に警報を通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 警報レベルに応じた警報音を鳴動 • 警報通知ウィンドウに警報内容を表示 • システムステータスウィンドウのインジケータ部を点灯表示 • あらかじめ指定したグラフィックなどの機能画面を強制表示 • 警報移報（オプション） • 警報E-mail通知（オプション） • ログ機能により、警報発生/復帰のログを記録（オプション） <p>次の警報監視対象を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 警報入力 • 状態不一致 • アナログ上下限警報（オプション） • ポイントトラブル • 構成機器警報（異常・無応答） <p>など</p>

機 能	説 明
アナログ上下限監視 (オプション)	アナログポイント (AI・AO・AV) の現在値があらかじめ指定した上下限値の範囲から逸脱した場合 (アナログ上下限監視)、または比較対象のポイント (設定値) との差分が設定した範囲から逸脱した場合 (アナログ差分監視) に警報を発生させ、上下限の範囲に入ったときに警報から正常に復帰します。 上限監視のみ・下限監視のみ・上下限双方の監視・さらにインターロックポイントが条件を満たしている場合にのみ監視を有効にできます。
状態継続時限監視 (オプション)	監視対象のデジタルポイント (BI・BO・BV・MI・MO・MV) が、連続してアクティブな状態 (通常ON)、または非アクティブな状態 (通常OFF) となっている時間をカウントし、カウントがあらかじめ指定した上限値に達したときに警報を発報します。 手動操作による機器の停止忘れ防止に役立ちます。
活性経過時間監視 (オプション)	監視対象のデジタルポイント (BI・BO・BV・MI・MO・MV) が、アクティブな状態 (通常ON) だった時間を活性経過時間とし、「ポイント詳細」画面に表示します。 活性経過時間があらかじめ設定したしきい値以上になったときに、警報を発報できます。 機器の劣化具合を推測し、メンテナンスや部品交換時期の立案に役立ちます。
状態変化回数監視 (オプション)	監視対象のデジタルポイント (BI・BO・BV・MI・MO・MV) が、アクティブな状態 (通常ON)、または非アクティブな状態 (通常OFF) に変化した回数を状態変化回数とし、「ポイント詳細」画面に表示します。 状態変化回数があらかじめ設定したしきい値以上になったときに、警報を発報します。 機器の劣化具合を推測し、メンテナンスや部品交換時期の立案に役立ちます。
警報音声メッセージ (オプション)	警報レベルに応じた警報音の代わりに、警報音声メッセージをあらかじめ指定しておくことで、警報発生時に警報の内容を音声メッセージで知らせます。
警報E-mail通知 (オプション)	ポイント・デバイス・アプリケーションからの警報の発生・変化・復帰をE-mailで通知します。 建物管理者が監視用PCを操作していない状況 (外出中/巡回中など) でも、警報の発生を知る手段として活用できます。 * メールサーバ・DNSサーバは、お客さまにてご用意ください。
端末間警報音停止連動 (オプション)	グループに設定したユーザが警報音を停止すると、同じグループに属するユーザがログインしている監視用端末でも警報音を停止する機能です。
ポイントガイダンス (オプション)	ポイントにガイダンスを設定できます。ガイダンスに警報発生時の対応方法を書くことで、警報の対応を円滑に進めることができます。 警報発生時にガイダンスの説明をユーティリティペインに表示します。重要警報が発生する場合、強制表示画面、またはブラウザでガイダンス説明を強制的に表示し、重要警報の対応遅れや対応漏れを防止できます。

● 管理

(1/3)

機 能		説 明
入退室管理	入退室ユーザ管理の概要	建物や部屋の出入をするユーザの情報管理をします。出入するユーザの登録や削除・出入許可情報の設定・各種検索条件による表示・属性コピーができます。 監視用PCで作成したユーザの情報をACCにダウンロードすると出入運用ができます。
	未使用カード検索	カードの最終操作日、未使用日数を検索できます。
	入退室ユーザ情報ファイル取込	登録するユーザデータの項目（氏名、管理No.など）をCSVファイルで取り込み、ユーザデータとして登録します。 本機能において取込元データファイル内のデータ項目の並び順を設定し、取り込めます。
	入退室ユーザ情報ファイル出力	各ユーザ情報（氏名、管理No.など）をCSVファイルに出力する機能です。 ユーザ情報の各項目を指定した順に、対象となるユーザ情報のみを出力できます。
	入退室ユーザ情報の設定変更履歴参照	入退室ユーザデータの新規登録・変更・削除などの更新履歴を残し、管理者が参照できます。登録されているユーザをいつ、どのように更新したのかが容易に把握できます。
	入退室ログ蓄積	カードリーダなどで照合操作をすると、そのユーザおよび管理点（カードリーダ）の情報を月／日／時刻とともに、統合コントローラ上に蓄積します。管理点に関する蓄積は、ポイントごとに蓄積の有無を指定でき、あらかじめ蓄積の必要性を判断した機能運用ができます。 統合コントローラに蓄積されたデータは、フィルタリングにより最大1万件を表示します。また、フィルタリング結果をCSVファイル・XLSXファイル・PDFファイルに出力できます。 出力されたCSVファイルは、市販のデータベース・表計算ツールなどを利用でき、データの有効活用を図ります。
変化蓄積	対象になるポイントの次の情報を統合コントローラに蓄積し、ユーティリティペインに直近の履歴とし、表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定周期スキャンで前回値と変化したときの時刻とデータ ・ COV（統合コントローラ受信時刻・データ） ・ イベント（発生時刻・データ） ・ 手動入力した値と時刻（手入力ポイント機能） 蓄積した情報は、チャート・フレキシブルレポート出力・データ集計機能などで表示し、使用します。	
データ集計 （オプション）	変化蓄積機能により収集されたデータから時・日・月単位で正時値・増分値・最大値・最小値・平均値を集計し蓄積します。 ポイント詳細機能にて活性経過時間監視・状態変化回数監視・時間帯別稼働実績監視を有効にした場合は、活性経過時間・状態変化回数・時間帯1活性経過時間・時間帯2活性経過時間も集計し、蓄積します。 蓄積したデータは、日週月年報・チャート・グラフィック・フレキシブルレポート出力機能で表示します。 インターロックポイントを登録し、任意の状態を指定することで、指定された状態の時間帯のみを演算対象にできます。	

機 能	説 明
チャート (オプション)	<p>変化蓄積、またはデータ集計機能にて蓄積された電力・温度・運転状態 (ON/OFF) の時系列変化などのデータをトレンドグラフ (斜め線・矩形) やバーグラフ (棒グラフ・積層グラフ) で表示します。</p> <p>また、データ集計機能にて蓄積されたデータを非時系列のグラフ (散布図・円グラフ・ヒストグラム) で表示します。</p> <p>時系列グラフ・散布図・円グラフ・ヒストグラムは、期間を指定して2期間の表示ができます。</p> <p>システム内に蓄積されたデータだけでなく、アーカイブ・リトリブ機能により統合コントローラから出力されたデータを監視用PCに取り出し (リトリブデータ)、グラフに表示できます。</p> <p>凡例のチェックボックスの☑チェックを外すことにより、簡単に特定のデータを非表示にできます。</p> <p>グラフの基になる収集データ、集計データをCSVファイルに手動で出力できます (収集データは自動出力もできます)。また、表示中のグラフとデータをXLSXファイル・PDFファイルに手動で出力できます。</p>
日週月年報 (オプション)	<p>データ集計機能により、集計・蓄積されたデータから表形式の日週月年報ファイルを生成し、一定期間蓄積します。</p> <p>データ集計機能により蓄積された次のデータをCSV形式・XLSX形式・PDF形式のファイルに自動、または手動で出力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日報 (時データ・日集計データ) • 週報 (日データ・週集計データ) • 月報 (日データ・月集計データ) • 年報 (月データ・年集計データ)
日週月年報フォーマット編集 (オプション)	<p>日報・週報・月報・年報の表示フォーマットを実務に則した形に変更することにより、日常業務をより効率的に行えます。フォーマットはシステムが稼働している状態で編集できます。</p>
ログ (オプション)	<p>警報・状態変化・発停・設定値変更などの操作情報をログとして蓄積・管理します。</p> <p>検索機能により「全体」「警報」「未確認警報」を抽出でき、また、条件を指定して必要な情報に絞って表示できます。表示中のデータをCSVファイル・XLSXファイル・PDFファイルに自動、または手動で出力できます。</p> <p>アイコンにより未確認警報を表示し、ユーティリティペインから警報の確認/未確認を操作できます。</p> <p>すべてのデータには、コメントを記録できます。</p>
ログフォーマット編集 (オプション)	<p>ログから出力するXLSXファイル・PDFファイルのフォーマットを実務に即した形に変更することにより、日常業務を効率的に行えます。</p> <p>フォーマットはシステムが稼働している状態で編集ができます。</p>
ログコメント使用禁止 (オプション)	<p>ログのコメントをシステムで入力できなくする機能です。</p> <p>ログコメントを使用禁止にすることで、コメント欄は常に空欄で表示されます。コメント列は、編集モードで非表示にできます。</p>

機 能	説 明
操作状態記録の変更禁止 (オプション)	ユーザがポイントの操作ログや状態変化ログの記録を一時的に実施、または中断するのを防ぐため、操作状態記録の有効/無効の設定変更を禁止します。
PDF編集権限設定 (オプション)	出力したPDFファイルの改ざんを防止するため、手動、または自動で出力されるすべてのPDFファイルにランダムな権限パスワードを設定し、編集・抽出・コピーができないようにします。
XLSX出力禁止 (オプション)	実際とは異なるデータにより日週月年報やログの資料を容易に作成できないようにするため、日週月年報、またはログからのXLSXファイルの出力を禁止します。
アーカイブ・リトリブ (オプション)	アーカイブは、各統合コントローラに蓄積された変化蓄積・データ集計・ログのデータを日ごとに自動、または手動で統合コントローラの外部に保存するための機能です。 リトリブは、外部に保存されたデータを指定期間分読み込ませることで、チャート・日週月年報・ログで表示する機能です。
フレキシブルレポート出力 (オプション)	システムに蓄積されたデータ（変化蓄積・データ集計・ログ）を用いてXLSXファイル・CSVファイルにレポートを作成する機能です。 フォーマットを編集することで、日・月・年のどのレポートかの指定、XLSXファイル・CSVファイルに出力する指定、蓄積されたデータの指定、設定するポイントタイプの指定、出力するデータ間隔の指定ができます。 フォーマットを実務に即した形に変更することにより、日常業務を効率的に行えます。 フォーマットはシステムが稼働している状態で編集できます。
時系列データ出力 (オプション)	システム全体が蓄積している収集データ（1分・10分・30分周期）・集計データ（時・日・月・年）の期間を指定しCSVファイルに出力できます。 ネットワークアタッチトストレージ（NAS）に蓄積しているデータも出力できます。
外部ストレージ対応 (オプション)	ネットワークアタッチトストレージに、次のシステムデータを長期間保存します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 統合コントローラのヒストリカルデータ ● 監視用PCからの出力データ ● エンジニアリングデータ 停電時に統合コントローラからシャットダウンコマンドを出力し、データの安全を守ります。

● 制御

(1/2)

機能	説明
入退室管理	
入退室制御 (出入照合制御)	カードリーダーなどの照合操作で、ユーザ登録状態・カードフォーマット・暗証番号・入退室許可ルーム・クローズ特権・発行回数・有効期限などを照合し、その結果に基づいた電気錠の施解錠を行い、各ルームへの通行を制限します。
通行モード管理	ゲートの通行モードを管理し、通行モードの切替時に警備、電気錠の連動制御をします。 <ul style="list-style-type: none"> ● フリーモード：常時解錠しています。照合操作ごとに反転（施錠）もできます。 ● リミットモード：常時施錠しています。照合操作により、一時的に解錠します。 ● クローズモード：出入を許可しません。
電気錠制御／監視	照合結果から電気錠の施解錠制御のほかに、こじあげ監視・施解錠失敗監視・施解錠リトライ制御・扉開放監視をします。 また、電気錠だけでなく、主として自動扉を想定した接点出力やフラッパーゲートにも対応しています。
警戒／非警戒 連動制御	非警戒→警戒への切り替えで、照明の消灯制御などほかの設備との連動制御をします。 警戒→非警戒への切替時も同様です。
侵入者検知時威嚇 照明制御	防犯センサで侵入者を検知したときに、ACCを介して照明設備との連動制御を行い、威嚇のための照明の自動点消灯をします。
火災時電気錠 解錠制御	火災発生時、自動的に電気錠の解錠を行い、非常時の避難経路を確保します。
エレベータ連動 制御	行き先階のボタンを押す前に、カードリーダーで照合し、ユーザが出入権限を持っている階のみ有効にします。 ほかの階のボタンを押しても対応しません。
ローカルアンチ パスバック制御	カードリーダー種別（入リーダーか退リーダー）と在室状態（入リーダー照合OKでIN、退リーダー照合OKでOUT）を比較し、論理的矛盾のないように入退室管理をする機能です。 これにより、カードの使い回しや伴連れなどの不正入退室を防止し、在室者管理をより厳密に管理します。 AAC単位の制御ですので、部屋をまたがったの論理判定はできません。複数の扉や部屋にまたがった制御をする場合は、グローバルアンチパスバック制御を使用してください。
グローバルアンチ パスバック制御	その区画に居ることが正しいユーザは許可、そうでないユーザは不許可と判断して、論理的に矛盾のないように入退室管理をします。これにより、カードの使い回しや伴連れなどの不正入退室を防止し、在室者管理をより厳密にできます。 システム通信断など当制御に影響のある障害が発生した場合は、『障害時は全員許可する／障害時でもセキュリティ性を重視する』のように、運用レベルに合わせて設定できます。 障害時でもセキュリティ性を重視する場合は、許可の人間が不許可、不許可の人間が許可される、というケースがありますので注意してください。
ルーム暗証	運用パターンが「カードまたは暗証」の場合、ルームごとに設定した暗証番号のみで入退室できます。 高機能タイプやスリム-IIタイプのLCD有モデル・音声出力ありのテンキー付きモデルのみ対象です。 ユーザごとの暗証番号の設定はできません。
ツーパーソン照合	2枚の連続するカード照合操作をして、両方とも照合がOKになった場合にルームに入退室できる機能です。 高いセキュリティレベルが要求されるルームに適用することで厳重な入退室管理ができます。
レベル制御	区画ごとにレベルを設定し、レベルが高い区画から低い区画への入退室は許可するが、レベルが低い区画から高い区画への入退室は不許可とする機能です。 たとえば動物実験室などで清浄度の高い部屋から低い部屋への移動はできるが、逆はできないなど通行ルートの制限をする運用に適しています。

機 能	説 明
カレンダー（オプション）	<p>スケジュール機能と組み合わせて使用します。</p> <p>祝日や長期休暇など、曜日ごとのパターンではない制御パターンを日付種別に登録します。</p> <p>オペレータワークステーション（上位デバイス）が接続されている場合は、プログラムごとにオペレータワークステーションに公開する／しないを設定できます。</p>
スケジュール（オプション）	<p>あらかじめ設定されたスケジュールにしたがって、機器の起動／停止や設定値変更（日々の設定値プリセット・季節変化による設定値変更など）を自動で行います。各曜日の通常スケジュールを設定した週間マスタスケジュールを基に本日から1週間分の実行スケジュールを作成し、統合コントローラに接続されたプライマリデバイスに展開します。</p> <p>カレンダー機能と組み合わせると、週間マスタスケジュールのほかに、祝日や平日特別日、夏季休暇日などの特定日を設定した日付種別マスタスケジュールから実行スケジュールを作成し、統合コントローラに接続されたプライマリデバイスに展開します。</p> <p>プライマリデバイスがスケジュール機能を持たない場合は、統合コントローラから制御できます。</p> <p>オペレータワークステーション（上位デバイス）が接続されている場合は、プログラムごとにオペレータワークステーションに公開する／しないを設定できます。</p>
スケジュール合成（オプション）	<p>複数の実行スケジュールを入力として、活性状態・非活性状態を合成した実行スケジュールを作成する機能です。</p> <p>(例) エントランスホールなど共用エリアのスケジュールの作成など</p>
数値演算（オプション）	<p>システムで管理されているさまざまな値を使用し、数値演算を行い、ポイントに結果を出力できます。</p> <p>複数計測機器の値から合計値や平均値などの管理データを作り出せます。</p> <p>数値演算には、指定したポイントの現在値を入力して演算する現在値演算と、指定したポイントの収集データタイプ・データセットを設定し、集計値を入力して演算する集計値演算があります。</p>
条件演算（オプション）	<p>特定条件を満たす場合の機器連動・運転組み合わせ・順序投入・設定値自動変更などのプログラムを作成できます。</p> <p>各設備の運転管理の負荷削減や統一した緊急時対応が行えます。</p> <p>(例) 入退室設備や照明などの設備機器連動・設備機器の同時起動防止・特定条件成立時の室内温度設定値自動変更など</p>
警報移報（オプション）	<p>システムの任意の運用区分（アプリケーション／ポイント／デバイスのグループ）で任意の警報レベルの警報が発生したときに、BO・BVポイントをONにします。</p> <p>(例) 入退室設備で警報が発生したときに警報灯を点灯します。</p>
火災時制御（オプション）	<p>火災の発生／復帰を監視する入力ポイントが警報（火災発生）になると、警報音鳴動・警報通知メッセージ表示・ログ（オプション）記録に加え、火災インジケータ点灯により、火災発生を通知します。</p> <p>火災発生時に複数の出力ポイントに対し、それぞれ既定値を出力できます。</p> <p>(例) 火災時の空調停止や電気錠強制解錠をします。</p> <p>オペレータワークステーション（上位デバイス）が接続されている場合は、オペレータワークステーションに公開する／しないを設定できます。</p> <p>「公開する」に設定すると、火災時制御状態をオペレータワークステーションに通知し、オペレータワークステーションから火災時制御解除指令を受け、統合コントローラから火災時制御解除ができます。</p>

● その他

機 能	説 明
ユーザ管理	<p>ユーザ管理には、次の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザ登録と削除 ● ログインIDとパスワードの設定 ● ユーザの有効／無効の切替 ● ユーザの有効期限のあり／なしの設定、ありの場合の期限の設定 ● ログイン許可条件の設定 ● ユーザごとに表示／操作できるポイントや機能の限定（運用区分とアクセスレベルの設定） ● ユーザごとの固有の設定（言語設定など） ● 無操作状態で一定時間経過後の自動ログアウト ● 警報通知の設定
冗長化 （オプション）	<p>統合コントローラ（アクティブ）と同時に、統合コントローラの予備装置（スタンバイ）を設置し、統合コントローラやネットワークの異常発生時に、予備装置がシステム機能の迅速な自動復帰を行います。</p> <p>正常時は、常に監視をアクティブ側が行い、短周期でスタンバイ側にデータをコピーします。下位デバイスへの通信負荷を非冗長化のときと同等に抑え、スタンバイ側に蓄積されている設定データや履歴をアクティブ側と一致させます。</p>
フルスクリーンモード （オプション）	<p>監視用PCの起動時に、端末に設定されているデフォルトユーザにて自動ログインし、ホーム登録された画面をフルスクリーン（アプリケーションウィンドウのみを最大化した状態）で表示できます。</p> <p>グラフィックパネルなどの代替として、ディスプレイにグラフィック画面のみを常時フルスクリーン表示できます。</p>
スライドショー （オプション）	<p>グラフィック、またはチャートのうち、日常監視で使用する各種画面を設定した時間間隔で自動表示することにより、画面をその都度開く操作を省き、作業の効率化を図れます。</p> <p>フルスクリーンモード（オプション）と組み合わせることによって、フルスクリーンで順次表示できます。</p> <p>よって建物のエネルギー使用状況などを、来館者向けにディスプレイに表示ができます。</p>
画面キャプチャ	<p>監視用PCの画面全体のイメージを取得し、PNGファイル出力、または印刷をする機能です。</p> <p>* フルスクリーンモードで表示している画面では、本機能は利用できません。</p>
SVC不正プログラム監視 （オプション）	<p>Trend Micro IoT Security™により、統合コントローラのアプリケーションに対する改ざん・不正なプログラムの実行を未然に阻止し、警報で通知します。</p> <p>(補足) Trend Micro IoT Security™は、統合コントローラのOS上でプログラムを実行するために必要な正規の監視・管理・制御アプリケーションの実行を許可し、ほかのアプリケーションが実行されることを阻止します。また、正規のアプリケーションが改ざんされることを阻止します。</p> <p>* 中国国内において、SVC不正プログラム監視機能は販売していません。 その他各国の販売状況については弊社担当者にお問い合わせください。</p>

■ 形 番

製品名称（アプリケーション名称）	形 番
savic-net G5 統合コントローラ	BH-102J0W0000 BH-102J0W0000-F
savic-net G5 統合コントローラ（azbilロゴなし）	BH-102J0N0000 BH-102J0N0000-F
savic-net G5 統合コントローラ：入退室管理機能	BS-10AD01801J
savic-net G5 統合コントローラ：下位BACnet/IP通信	BS-10AD12001J
savic-net G5 統合コントローラ：冗長化	BS-10AD00011J
savic-net G5 統合コントローラ：外部ストレージ対応	BS-10AD00031J
savic-net G5 統合コントローラ：NAS自動シャットダウン	BS-10AD00032J
savic-net G5 統合コントローラ：自動バックアップ	BS-10AD00041J
savic-net G5 統合コントローラ：同時ログイン数	BS-10AD00101J
savic-net G5 統合コントローラ：警報音声メッセージ	BS-10AD00201J
savic-net G5 統合コントローラ：フルスクリーンモード	BS-10AD00301J
savic-net G5 統合コントローラ：スライドショー	BS-10AD00401J
savic-net G5 統合コントローラ：SVC不正プログラム監視	BS-10AD00501J
savic-net G5 統合コントローラ：端末間警報音停止連動	BS-10AD00601J
savic-net G5 統合コントローラ：ポイントガイダンス	BS-10AD00701J
savic-net G5 統合コントローラ：ポイント管理	BS-10AD10001J
savic-net G5 統合コントローラ：アナログ上下限監視	BS-10AD20101J
savic-net G5 統合コントローラ：状態継続時間監視	BS-10AD20601J
savic-net G5 統合コントローラ：活性経過時間監視	BS-10AD20701J
savic-net G5 統合コントローラ：状態変化回数監視	BS-10AD20801J
savic-net G5 統合コントローラ：警報E-mail通知	BS-10AD11111J
savic-net G5 統合コントローラ：グラフィック	BS-10AD30101J
savic-net G5 統合コントローラ：グラフィックジェネレータ	BS-10AD30111J
savic-net G5 統合コントローラ：データ集計	BS-10AD40101J
savic-net G5 統合コントローラ：集計データ修正	BS-10AD40111J
savic-net G5 統合コントローラ：チャート	BS-10AD40401J
savic-net G5 統合コントローラ：日週月年報	BS-10AD40601J
savic-net G5 統合コントローラ：日週月年報フォーマット編集	BS-10AD40611J
savic-net G5 統合コントローラ：ログ	BS-10AD40701J
savic-net G5 統合コントローラ：ログフォーマット編集	BS-10AD40711J
savic-net G5 統合コントローラ：ログコメント使用禁止	BS-10AD40721J
savic-net G5 統合コントローラ：操作状態記録の変更禁止	BS-10AD40751J
savic-net G5 統合コントローラ：PDF編集権限設定	BS10AD40801J
savic-net G5 統合コントローラ：XLSX出力禁止	BS-10AD40811J
savic-net G5 統合コントローラ：アーカイブ・リトリーブ	BS-10AD40901J
savic-net G5 統合コントローラ：フレキシブルレポート出力	BS-10AD41001J
savic-net G5 統合コントローラ：時系列データ出力	BS-10AD41101J
savic-net G5 統合コントローラ：カレンダー	BS-10AD50501J
savic-net G5 統合コントローラ：スケジュール	BS-10AD50601J
savic-net G5 統合コントローラ：スケジュール合成	BS-10AD50611J
savic-net G5 統合コントローラ：数値演算	BS-10AD50301J
savic-net G5 統合コントローラ：条件演算	BS-10AD50201J
savic-net G5 統合コントローラ：警報移報	BS-10AD50101J
savic-net G5 統合コントローラ：火災時制御	BS-10AD51601J

- ACCインタフェース・ACC（BASICモジュール・JYOモジュール・TBモジュール・DIモジュール・DOCモジュール・Wiegandモジュール・KBXモジュール）・カードリーダー配線変換器

製品名称	形番
ACCインタフェース	WJ-1180W0000
ACC BASICモジュール	SRY40000W0000
ACC JYOモジュール：電気錠 I/F2回路	SRY41001Z0000
ACC TBモジュール：電源供給10ライン	SRY41002Z0000
ACC DIモジュール：DI×10点	SRY41003Z0000
ACC DOCモジュール：DO×8点	SRY41004Z0000
ACC Wiegandモジュール：Wiegand I/F2回路	SRY41005Z0000
ACC KBXモジュール：KBX通信用	SRY41006Z0000
カードリーダー配線変換器：カードリーダー4系統	SRY49001D0000

savic-netはアズビル株式会社の商標です。
BACnetは、ASHRAEの商標です。
eLWISE®は、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の商標です。
Ethernetは、富士フイルムビジネスソリューション株式会社の商標です。
FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaは、ソニーグループ株式会社の登録商標です。
Intel®、Intel® Core™は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
Microsoft、Excel、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
MIFAREは、NXPセミコンダクターズの商標です。
Modbus is a trademark and the property of Schneider Electric SE, its subsidiaries and affiliated companies.
Trend Micro IoT Securityはトレンドマイクロ株式会社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー



[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。